

鷺森別院で報恩講勤まる□1  
 阿弥陀さまと私□2  
 新・祖蹟点描□3  
 青色青光□4  
 鷺森別院岡崎支坊紹介□6  
 実践運動推進計画□8  
 過疎対応支援員活動報告□9  
 新期宗会議決まる□10  
 つれもて聴こら□12



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森別院

2021年(令和3年)

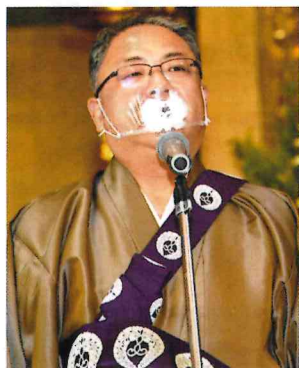
1月1日

第126号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

## 新型コロナ対策を徹底

### 鷺森別院で報恩講勤まる



#### 報恩講ご満座迎えられ感謝

輪番 廣澤敬典

11月に入り、いつ  
 緊急事態宣言が発令  
 されるか、外出の自  
 粛要請が出るかと、  
 状況を注視しながら  
 報恩講の初日を迎え  
 期間中も、いつ中止

11月に入り、いつ  
 緊急事態宣言が発令  
 されるか、外出の自  
 粛要請が出るかと、  
 状況を注視しながら  
 報恩講の初日を迎え  
 期間中も、いつ中止

蓮如上人の『御文章』に  
 は、報恩講についてお書き  
 になられたものが何通かご  
 応ずるため、お勤めも参拝

今年の報恩講は、新型コ  
 ロナウイルスの感染症に対  
 応するため、お勤めも参拝



恒例の鷺森別院報恩講が、11月24日から28日までの5日間勤修された。新型コロナウイルスの感染リスクを考慮して、例年1日1座の法要を、なか3日間は午前・午後の2座に増やし、計8座の法要で参拝者の分散を図るなど、感染防止策を徹底しての報恩講となった。



↑マウスシールドを着けてお勤め(初日の速夜法要)

本堂内陣に出勤する僧侶も、導師を務める廣澤敬典輪番を含め6人に制限。初日午後2時からの速夜

教区仏教婦人会が参拝した4日目の速夜法要

〈12面に法話要旨〉

この日の参拝は、和歌山教区寺族女性会(各組3人まで)と教区内14組の組長、一般の方に限られ、参拝者は、本堂に入ってすぐの所で手を消毒し、受付で検温を受けた。

講師の横田正純師もマウスシールドを着けての法話。演台の上にはアクリル製のパネルが立てられ、時間も約30分間一席に短縮してのお取り次ぎとなった。

法要は、和歌山北・加茂・伊那・有賀・有田南の各組から1人ずつが出動し、全員がマウスシールドを着けて「大師影供作法」をお勤め。宗祖親鸞聖人の遺徳をしのんだ。

のあり方も、例年とは少し違った形になりました。

しかし、形は変われど、こうやって皆さまと共に親鸞聖人のお徳をしのばせていただくことができました。本堂に有り難い縁だと思ふこととさせていただきます。

(11月28日満日中法要)

# 阿弥陀さま

ハウツー仙事と

私

## ②⑧ 日常生活の心得

新年を迎えますと、例年ほどなくと、健康・学業・就職などの成就を願い、また新型コロナウイルスの終息を祈願して、多くの人が有名寺社に押し寄せるのではないのでしょうか。宗教とは、自分の願いをかなえるためのもので、その場所が寺院や神社だと思っている人が多いようです。

一人ひとりが抱える願いは、まことに切実なものに違いありません。もし、その願いがかなえば、一時的には安心を得ることができそうです。しかし、それは根本的な解決にはなりません。お釈迦さまは、私たちの

人生の実相を「四苦」と明らかにされました。私たちは「生老病死」に代表される思うようにならないことを身に抱えて生きています。自分の願いが物事の道理を外れたものだとして、その願いは、逆に自分自身を苦しめることとなります。それに対して、浄土真宗

## 阿弥陀さまの願いを聞く



11月7日にお勤めした筆者の寺の報恩講

は「阿弥陀さまの願いを聞く」教えます。阿弥陀さまは、私のありようを、煩惱の闇のなかにあって、自分では何一つ真実への手掛かりを持たない「凡夫」と見抜かれました。そして、私がついていくべき姿を「仏」と示され、

私が仏に成る道を整えられた上で、「まかせよ」と呼びかけてくださっています。私が進むべき道は、私の願いの延長線上にあるのではなく、阿弥陀さまの願いのなかにこそあるのです。2008年(平成20)4月に新たに制定された「浄

土真宗の教章(私の歩む道)の「生活」の項には、「親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の真心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る」と、

私たちの日常生活の心得が示されています。

「慚愧」とは、阿弥陀さまの願いを前にして、わが身のありようを恥じることで、「歡喜」とは、そのようなわが身が、阿弥陀さまに必ず救われることを喜ぶことです。

そして「現世祈禱などにたよることなく」とあるのは、自分自身の欲望に振り回されることなく生活することの勧めです。

宗祖親鸞聖人は『高僧和讃』のなかで、

「仏号むねと修すれども現世をいのる行者をば

これも雑修となづけてぞ千中無一ときらはるる」

(註釈版聖典590頁)と、示されました。

たとい専らお念仏を称えている者でも、現世の幸福を祈る者は、千人に一人も真実の浄土に往生することはできないと戒められているのです。

現世のことを祈らないとは、迷信にとらわれることなく生活するということで

もあります。

「門徒物忌み知らず」という言葉の意味はここにありま

す。浄土真宗の門徒は、日や方角、年回りなどの吉凶・良し悪し、また占いに頼ることを一切しないこと

から定着した言葉です。ところで、筆者の寺では、

昨年春の恒例法要は、新型コロナウイルス感染予防のため、総代など関係役員だけの法要となりました。

しかし、秋の報恩講法要は、「3密」を避けるなどできるだけの感染防止策を

施して、無事お勤めでき、参拝の方々と法要のご縁に

遇えた喜びをかみしめたことでした。大切なのは、仏

さまのみ教えに遇う「聞法

の場」。「ご縁」を絶やさな

いよう工夫することです。

2014年(平成26)1月1日発行の第99号から、

丸7年にわたり続けてまいりました本連載も、今号で

最終回を迎えました。長らくのご笑覧有り難うござい

ました。〈了〉

(松本教智・海南組了賢寺住職)

新

## 祖蹟点描

28 六角堂②



隣接するビル「WEST 18」から六角堂を一望。六角宝形造りの本堂に参拝のための前殿をつなげた形がよく分かる

親鸞聖人が生まれる50年ほど前に成立したと考えられている『今昔物語集』の巻第十六には、観音菩薩から夢告を得ようと寺院に参籠する話がいくつか収められており、物語とはいえ参考になる。

そのなかから長谷寺に参籠する男の話を見てみる。この説話は「わらしべ長者」として知られる話と同型のものである。「わらしべ長者」といえば、一本のわらをみかんと交換したのを皮切りにして物々交換を繰り返すうちに裕福な生活を得

活の糧もありません。このような境遇で終ってしまうぐらいなら、観音さまの前で飢え死にしようと思ひます。しかし、少しでもお恵みを頂けるようでしたら、そのことを夢にお示しください。それまで絶対にここを出て行かないつもりです」と、観音菩薩の前に突っ伏してしまつた。

寺の僧たちは、困りながらもその男の面倒を見てやることになり、食べ物を与える。男はそれを食べながら観音菩薩の前で昼夜を問わず念じていたが、それもいつしか21日に及んだ。

『今昔物語集』のなかで夢告を求め参籠する人々は、他の説話でもそうなのだが、主に貧しきから人生に行き詰まって観音菩薩の慈悲にすがりたいという思いを募らせ、何とかその慈悲の恵みにあずかろうと、夢の世界に願いを託したのである。(本紙編集部)

## 夢告求め参籠する人々

た「真剣さ」が共感されにくくなっているのは事実だと思われるからである。

太古から、夢は人間の世界と、その世界を超えた仏や神の世界との通路のようなものだと考えられてきた。

親鸞聖人の時代には、観音菩薩に願ひ事をすれば、それが聞き届けられた証し

として、夢告という形で何らかの応答を頂けると信じられていた。だからこそ、人々は観音菩薩をご本尊とする六角堂や、清水寺、石山寺、長谷寺、粉河寺などに参籠したのである。

では、人々はどういう願いを持ってそれらの場所に参籠したのだろうか。

るといふ話だが、『今昔物語集』の話は、長谷寺に参籠するところから始まっているのである。現代語訳に

——今は昔、京に父母も妻子も知人もいない青侍がいた。この男が長谷寺に参り、観音菩薩に向かって言う。「私は貧しく何一つ生

## 六角堂

場所 京都市中京区六角通東洞院西入

堂之前町248

電話075(221)26686

交通

京都駅から地下鉄烏丸線で6分、「烏丸御池」駅下車。同5番出口から南へ徒歩3分。

# 青色青光

## 同朋運動70周年迎え大会

歩み振り返り、未来へ

同朋運動をすすめる7者  
協議会は「同朋運動70周年  
記念大会」を昨年12月10日  
に開催した。



願道会館（京都教区教務所）で勤められた記念法要

め、これまで同朋運動に尽力された物故者の遺族代表、来賓、各同朋運動団体の代表者らが焼香を行った。

その後、主催者を代表して、同和教育振興会評議員の岩本孝樹さんが「70周年にあたり―運動の振り返り―」と題して運動の歩みを解説。

岩本さんは、同朋運動とは、現在の教団が残念ながら同朋教団になっていないという現実から始まっている。その教団とは、私という一人があって存在する。

今日の教団での同朋運動は、「一人ひとりが担う運動」として位置付けられている。言い換えれば、私が変わっていくということは、教団も変わっていくことになり、教団が変わっていくことは私も変わっていくことと同じ意味である。

70年を迎え、竹のように節目を作りながら、大きく育ち発展していくような運動でありたい―と、話された。

午後1時からは会場を本

願寺同朋センターに移し、記念大会を開催。開会式では主催者を代表して石上智康総長があいさつ、来賓を代表して部落解放同盟中央本部書記長の西島藤彦さんが祝辞を述べられた。

記念講演では、元文部科学省事務次官の前川喜平さんが「格差社会の現状と子どもの課題」と題して講演。前川さんは、新型コロナによる子どもを取り巻く環境の変化に触れ、一斉休校によって、家庭で学習でき

### 寺院役員に辞令伝達

報恩講期間中に

和歌山教区では昨年11月25、26両日、「教区責任役員辞令・門徒総代登録証伝達式」が報恩講期間中の鷺森別院本堂で行われた。

今回の伝達は、2019年10月1日から2020年9月30日の間に願記申請をされ、就任した責任役員、門徒総代、47力寺183人が対象。

例年は5月と11月の年2



辞令を受け取る寺院代表者

る環境にある子どもとそうではない子ども、学校給食がなくなり食事が取れない子どもなど、まさに子どもの生存権に関わるような問題が起きている、と指摘。子どもが経済的な事情を心配せずに安心して学校に行けるように、進学をあきらめなくてもいいように、また、それに起因し学力の差が生じないようにするのは、国の責務である。日本国憲法は日本の国民だけでなく人類普遍の到達点を見

ている。その理念は、自由平等、そして生存権、平和などを、私たちに実践するように教えている。この精神に立ち返ることが今こそ大事なのでは―と、話された。

講演のあと、東日本同朋運動推進協議会の麻田秀潤さんが大会宣言を朗読し、満場一致で採択。

最後に「同朋運動を続ける会」の嶋津弘隆事務局長が挨拶をして大会が閉じられた。

### 鷺森別院でおみぎ

鷺森別院では11月12日、恒例の報恩講法要をお迎えするにあたり、本堂で仏具のおみぎを実施した。

鷺森別院婦人会会員、若さぎ会の会員らが、午前11時に集合して約1時間、本堂や書院の輪灯をはじめ、菊灯、仏飯器などを熱心に磨きあげた。

この行事は毎年2回行われている。

# 得度式に向け研さん

鷲森別院で得度講習会・得度審査

和歌山教区では12月5、6日の2日間、毎年一回開催している「得度講習会」と「得度審査」を鷲森別院で実施した。今年は教区内から3人が参加。

得度式の受式を希望する場合、本山宗務所や教区教務所で開催される得度講習会を受講し、得度審査に合格した上で、得度習礼所

講習会では、廣澤敬典教務所長による「仏教の基礎知識」「宗制の大意」の講義、西永月潭教区勤式指導員を中心とした教区内特別法務員の指導による黒衣や五条袈裟など衣体の被着法、本堂内陣の荘厳説明、正信念仏偈草譜・行譜、念仏、和讃のお勤めや御文章拝読の練習、内陣出勤の実習などが行われた。

今回のお勤めの練習は、参加者一人ひとりに合わせ

できていないポイントを重点的に練習できるよう個別指導が行われた。参加者らは、初めて聞く単語、慣れない動式作法に悪戦苦闘しながらも、全員



講師の話に熱心に聞く参加者

## 青色青光

## 出展作品100点越える

教区少年連盟が作品展開催

和歌山教区少年連盟では、報恩講期間を含む昨年の11月24日から12月12日までの19日間、「子ども作品展」を別院本堂で開催した。今年は、書道の部72点、絵画の部8点、ぬりえの部23点の合計103点の応募があった。厳正な審査により選ばれた入賞者は左記の方々。

### ■書道の部

▽本願寺鷲森別院賞・久堀彩夢、角本晴人▽輪番賞・上田夢、山本歩咲▽少年連盟特別賞・福島杏果、西川



本堂に展示された作品

優里、伊藤優美、山本慧惺、石田心路

### ■絵画の部

▽輪番賞・望月心結▽少年連盟特別賞・北岡りこ

### ■ぬりえの部

▽本願寺鷲森別院賞・上田莉央▽輪番賞・下原優芽▽少年連盟特別賞・西川あり

(敬称略)

が修了。得度式の受式に向けて、気持ちを新たにすると講習会となった。

### ◆得度講習会：僧侶として

の自覚並びに基本的な技能および知識を修得するため、本山宗務所、各教区教務所で行われている。修了者には修了証が交付され、その有効期限は交付日から3年間となる。

### ◆得度審査：得度講習会を受講した方について

「僧侶の要件」を有するか否かを審査するために実施される。本山宗務所をはじめ、各教区教務所で受けることができ、その可否は得度審査会(宗派)が判定する。

合格者には合格証が交付され、その有効期限は同じく交付日より3年間。

### ※得度講習会、得度審査

のいずれも、総局が認定した学校および仏教学院の卒業生は免除されます。ただし有効期限は卒業した日から3年間。詳しくは教務所へお問い合わせください。

## 鷲森テレホン法話

073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺) TEL(073) 487-2430  
ヤングこころの電話 (同上) TEL(073) 487-0404  
こころの電話 (御坊組専福寺) TEL(0738) 44-0874

## ラジオ「西本願寺の時間」 和歌山放送では3月終了

20年以上にわたり毎週土曜午前5時50分から約10分間、WBS和歌山放送(周波数1431キヘルツ)で放送されてきたラジオ番組「西本願寺の時間・みほとけとともに」が、本年3月をもって放送を終了する。ラジオによる不特定多数への縁づくり、自宅にいても法話を聞くことができるといふ長所を活かし、宗派の伝道方法として長年その役割を担ってきたが、インターネットメディアの発

達やスマートフォンの普及、ラジオ離れなどから、和歌山放送での番組放送を終了することになった。同番組は、京阪神地域では、KBS京都放送(周波数1143キヘルツ)で毎週土曜午前6時5分から、ABC朝日放送ラジオ(周波数1008キヘルツ)では毎週火曜午前4時35分から聴くことができる。同番組は、本願寺公式動画配信サイトでも常時配信されている。

鷺森別院から東南東の方角へ約6き、和歌山南スマー  
トインターチェンジ（ETC搭載車専用）のすぐ北西の  
小高い山の上に立つ鷺森別院岡崎支坊（和歌山市森小手  
穂555）は、古くから西本願寺の納骨・分骨の場所と  
して知られ、地域の方からは「お山」とか「御坊さん」  
と呼ばれ親しまれてきた。1953年（昭和28）に「本  
願寺鷺森別院岡崎支坊」として鷺森別院とは別に宗教法  
人格を取得して70年近くが経過したが、今、鷺森別院の  
「支坊」という立場を明確にするため、鷺森別院による  
宗教法人の一体化（吸収合併）に向けて協議が進められ  
ている。そこで、和歌山教区内の方々に広くその存在を  
知っていただくため、岡崎支坊を紹介したい。

刊行された『紀伊国名所図  
会』二編（巻之四下）には、

「岡崎御坊」  
として、次  
のように記  
されている。  
「小手穂  
村講堂山に  
あり。西本  
願寺同派鷺  
森御堂の御  
懸所なり。  
當坊は感徳  
山と号す。  
洛東大谷に  
なりて、  
此地に宗派  
の墓所をさだめんと、延  
寶六年、和歌山宇治領なる  
光明寺をうつせしなり。當  
国一向門の石碑を建る権興



きれいにお飾りされた本堂内陣



本堂の真裏にある総ケヤキ造りの納骨堂

## 鷺森別院との法人一体化へ 協議進む 岡崎支坊 紹介

1806年（文化3）か  
ら編さんが始まり、183  
9年（天保10）に完成し  
た『紀伊続風土記』の巻之  
十六には、「西本願寺御坊  
浄土真宗」として、「本  
堂 方七間 僧坊 鐘樓  
骨堂」と施設を列挙。改行  
して「村中山上にあり。延  
寶六年、若山豊屋町光明寺  
といふ廃寺を引移し、宗門  
一派の白骨を納る所とし、  
本山十四世寂如を開基とす。  
鷺森御坊より順番に支配す。  
近年一位老公親筆の讃仏乗  
といふ三字の額を賜ふ」と  
記されている。



寂如上人御影  
(岡崎支坊右余間)



紀州藩第10代藩主・徳川治宝から  
贈られた「讃仏乗」の額（本堂）



山門には獅子  
や象、獺など  
見事な装飾



古い墓碑が立ち並ぶ墓所

の場所と並んでこの地に宗  
派の墓所を定めるため、と  
の表現には重みがある。  
興味深いのは、岡崎支坊  
の創建が、紀州の浄土真宗  
において石碑（墓碑）を建  
てる権興（端緒）となった  
という表現。それまでは墓  
碑を建てる習慣がなかった  
ということだろうか。

岡崎支坊にお参りさせて  
いただいたのは、12月6日。  
2008年（平成20）4月  
から鷺森別院の委嘱を受け  
て同坊を管理されている小  
谷尊規師（有賀組門照寺衆

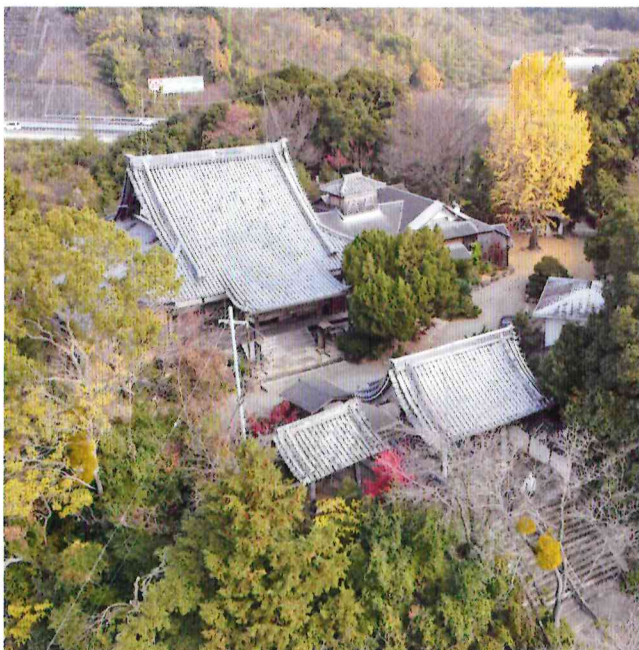
にして、宗徒の遺骨ここに  
納めり」。  
これにより新たに分かる  
のは、岡崎支坊のある山が  
「講堂山」と呼ばれていた  
こと、山号が「感徳山」で  
あること。「洛東大谷」と  
は、広大な墓所と納骨所を  
持つ大谷本廟（1603年  
（現在地）のある場所。そ

徒）の案内で、山門、本堂  
納骨堂、墓所などを拝見さ  
せていただいた。  
山門には、獅子、象、獺  
などの見事な装飾が施され  
「感徳山岡崎坊」の看板が  
南側の参道（階段）からの  
入口になっており、階段は  
100段あるという。  
本堂は1777年（安永  
6）に再建されたもの。内  
陣はきれいにお飾りされ、  
打敷まで掛けてある。  
目を上にとると、「讃仏  
乗」の扁額が。その両側の  
欄間には、立体感豊かに天  
女などが彫られている。襖  
絵は、京都生まれで、『紀  
伊国名所図会』三編の挿絵  
を描くために紀州に招かれ  
のちに紀州藩お抱え絵師と  
なった岩瀬広隆（1808  
（1877）の作だという。  
本堂の真裏には、ケヤキ  
の良材で造られた納骨堂が  
あり、そのご本尊の真下  
には、井戸のような空間が設  
けられ、お骨を合葬するた  
めの場所となっている。

山の中腹一帯は墓所で、  
1000基以上の墓碑が立  
ち並んでいる。元禄元年  
（1688）の記載のある  
ものが一番古いという。寛  
政12年（1800）に建て  
られた、鈴木孫一との関係  
がよく取り上げられる「鈴  
木孫市郎義兼」の墓もある。  
岡崎支坊には直参のご門  
徒はなく、古くから和歌山  
東組の聞光寺・西教寺・桃  
善寺・教明寺、真宗大谷派  
常福寺などのご門徒の力を  
借りてきた。仏教婦人会は、  
岡崎支坊と常福寺が合同で  
活動しているとのこと。

例年、4月に永代経法要、  
9月に報恩講をお勤めして  
おり、納骨されている人な  
どがお参りされるが、昔の  
にぎわいはすごかったとか。  
「南へ約800歩行った所  
に、わかやま電鉄貴志川線  
の岡崎前駅があるんですが、  
昭和11年ごろまで、報恩講  
や永代経法要があるときに  
は、駅から岡崎支坊までス  
ラッと露店が並んだと聞い  
ています」と、小谷さん。

岡崎支坊は、さすが御坊  
さんという歴史の重みが感  
じられるお寺。ぜひお参り  
を。お問い合わせは、電話  
073（471）5499。  
※『紀伊続風土記』の文章  
には句読点とルビを、『紀伊  
国名所図会』には句読点を補  
いました。



ドローンを使い上空から撮影した岡崎支坊



『紀伊国名所図会』に描かれた岡崎支坊

## 寂如上人創建の宗門の納骨所

2020 (令和2) 年度

## 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

和歌山  
教区

## 重点プロジェクト

## 総合基本計画

和歌山教区では、宗門の総合基本計画に基づき、伝灯奉告法要のご親教「念仏者の生き方」に学び、自他ともに心豊かに生きることのできる社会をめざし、さらに僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団としての責務を果たすため、また、寺院活動の活性化をはかり、ともにお念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげるため、次世代を担う人の育成を継続して行い「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

## スローガン

「結ぶ絆から、広がる縁へ」

## 活動内容

運動推進にあたり、活動内容を具体的に明確化するため、教区の会議体、教化団体、各種団体とともに、

以下の専門部会を設置し、相互の連携のもとで運動の展開を図ります。

1. 研修部会  
僧侶・寺族の研修、伝道教化・法座活動の実践と支援に関する部会
2. 教化部会  
連研、門信徒の教化、子ども若者へ縁づくり推進に関する部会
3. 広報部会  
教区報・テレホン法話・ホームページなど様々な媒体を使用した広報活動に関する部会
4. 社会部会  
人権啓発、平和問題への取り組み、社会福祉活動推進に関する部会

## 重点プロジェクト

## 重点プロジェクト

「重点プロジェクト」は、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。

和歌山教区では、「重点プロジェクト」の「実践目標」を

- (1) 貧困の克服に向けて「Dana for World Peace」子どもたちを育むために、
  - (2) 本願寺鷺森別院再建30周年に向け寺院活動の活性化をはかる
- と掲げ、組・寺院と連携しつつ、強力に取り組むを進めていきます。

## 推進期間

2020 (令和2) 年度から2023 (令和5) 年度までの4年間

## 達成目標

- (1) 今、私にできることから始めよう
- (2) ともにお念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげる

## 推進計画

- 【2020 (令和2) 年度】
- (1) 活動設定のための研修会
  - (2) 僧侶研修会の開催

## 推進機関

## 名称

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)和歌山教区委員会

## 委員紹介

▼委員長 宇多光誠(伊那組光明寺)

**ラジオ放送番組**  
みほとけとともに  
- 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から  
- 和歌山放送 (WBS) -

|        |         |
|--------|---------|
| 和歌山・串本 | 1431kHz |
| 田辺・すさみ | 1233kHz |
| 橋本・高野山 | 1485kHz |
| 新宮・御坊  | 1557kHz |

- ▼副委員長 竹本淳一  
(和歌山組西法寺)、北本一紀(和歌山北組浄源寺)
- ▼中央委員 藤範信介  
(伊那組光円寺)
- ▼常任委員 園田秀香  
(和歌山組妙慶寺)、大須賀拓善(和歌山組法林寺)、伊井智雄(和歌山組極楽寺)、加藤克子(和歌山西組万福寺)、八尾進(和歌

山西組正善寺)、山本行圓(伊那組蓮乗寺)、中田三恵(伊那組教善寺)、林秀信(有田南組教善寺)、三浦良成(有田北組極楽寺)、北條一穂(紀南組妙道寺)

▼委員 辻本真一朗(和歌山組西念寺)、得中茂(和歌山組名寺)、吉田敬子(和歌山東組正善寺)、中牟田貞良(和歌山東組聞光寺)、小川眞史(和歌山西組松尊寺)、釘貫祐史(和歌山西組西往寺)、保田史郎(和歌山北組浄源寺)、荻野行一(加茂組願称寺)、加藤義秀(海南組光徳寺)、仲河泰秀(海南組称名寺)、志場正敏(有賀組正善寺)、荻野益次(日高組浄明寺)、岩崎法明(日高組蓮尊寺)、玉置信夫(御坊組光徳寺)、小野秀康(紀南組勝尊寺)(敬称略)

※委員の任期は、2020 (令和2) 年4月1日から2年間。

【実践運動教区委員会専門部会委員名簿は10面に掲載しています】

# 兵庫県圓照寺を訪ねて

過疎対応支援員

楠原晃紹

楠原晃紹さん(日高組妙願寺)が本山の過疎対応支援員に任命されたことは本紙121号でお知らせしました。今号から、その活動を少しずつ紹介します。

昨年10月30日、廣澤敬典和歌山教区教務所長と共に兵庫教区神崎組圓照寺(兵庫県福崎町)を訪れました。中外日報や文化時報など

の記事でご覧になられたかもしれませんが、トヨタホーム近畿が施工を手掛けた圓照寺新本堂が完成し、昨年11月1日に落慶法要が営まれました。



新築された圓照寺本堂

## 住宅メーカーの新本堂拝見

宗報にハウスメーカー各社の本堂の広告が掲載されています。これは寺院活動支援部過疎地域対策担当が

担とらないようにと考えられています。

圓照寺では、花圓清明住職と坊主さん、工事を請け負ったトヨタホーム近畿の山内浩志京滋営業所所長、松村剛北大阪営業所所長から直接お話を聞き取ることができました。

この新しい本堂は、従来の木造建築ではなく、多目的の礼拝施設としての機能が備わったユニット工法を採用しています。

装工事とのことです。当然建設コストも安価で済み、耐震性もあり、機密性も高く、空調設備により年中快適に過ごせることは、参拝者や利用者にとって大変有り難いことです。

ご住職が、寺院運営の厳しい中、ご門徒に限らず地域の皆さまにも、ぜひ新築した本堂をご活用いただきたいとの熱い思いを語られていたことが、印象に残っています。

一般住宅の工法を取り入れ、空調や高い耐震性を備え品質を維持しつつ、予算や工期は従来の専門業者の相場を大幅に下回り、お寺を維持することが大きな負

担とらないようにと考えられています。

一方、デメリットは12・5坪四方の鉄骨を組み合わせるため、約6坪ごとに1辺30坪程度の四角い柱ができてしまうことです。内陣では気になりませんが、外

陣の座る場所によっては、柱が少し気になります。本堂の外壁は、約30年後に数百万円をかけ塗装し直す予定だそうです。



本堂の特徴を熱弁する花圓住職(右)

用しています。この工法のメリットは、工場で鉄骨の骨格を製作し、ほぼ組み立てられた状態のユニットを現場に運搬して積み上げていくため、工期が木造建築では考えられないほど早く済むこと。およそ6カ月程度で、完成期間の大半が内装は住宅で使用されるいわゆる壁紙でした。旧本堂の後門柱、欄間、天井画などは再利用され、近代的な中にも伝統的な雰囲気が出され、このような伽藍建築が今後増加するのではないかと感じました。

約50戸のご門徒らが15年をかけて、本堂再建を夢見てコツコツと積み立ててきたご懇念を肌で感じ取ることができました。

本年度の活動は、新型コロナのため、積極的な寺院訪問などは控えています。ご相談があればお伺いしますので、和歌山教区教務所までご一報ください。

## 新期宗会議員決まる

宗会議員任期満了に伴う選挙では、和歌山教区僧侶議員、門徒議員ともに定員1名に対し1人の立候補となり、無投票で下記の方々が選出されました。



門徒宗会議員  
内田 孝さん  
和歌山組本弘寺門徒



僧侶宗会議員  
荻野昭裕さん  
海南組浄国寺住職

この度、12月14日に門徒宗会議員に選出いただきました。来る令和5年にお迎えする「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」の円成に向け、邁進して参りたいと存じます。

コロナ禍にあって、新しい生活様式、これまで気づかなかった新しい価値観の登場により、今までの伝道方法も変化を余儀なくされています。ご門主の「このような状況下であるからこそわたくしたちも、感染症対策を講じた新たな方法で、み教えを伝えていかなければなりません」とのご教示を拝し、次代へバトンを繋いでいけるように、みなさまのご指導を仰ぎながら、新たな時代に即応した伝道の方法を考え、実践するため精一杯務めさせていただきます。

今後ともよろしくお願い申しあげます。

12月12日、和歌山選挙区地方選挙管理委員会より宗会議員当選状を頂きました。

皆さまのご支援のもと、宗会議員4期目の機会をいただいたことに、身の引き締まる思いです。

現在宗門には、課題が山積しています。中でも、過疎地域寺院における後継者不足、収入の減少、人の寺離れの現実是非常に厳しく、殊に限界宗教法人への早急な対応に迫られています。そのためには宗門財政基盤を早急に確立し、宗派として出来る対応策を十分に検討し計画を立て、一つひとつ着実に実行していく必要があります。3期12年宗会議員を務めさせて頂きました経験を生かして、さらに宗門の護持に邁進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申しあげます。

## 郷音流十方

1〜3月の催し

本山

1月1日 元旦会・修正会  
1月8日 大御身(祖像の御身拭い式)  
1月9日〜16日 御正忌報恩講法要

1月11日 本山成人式  
2月2日 住職補任研修  
2月3日 住職補任式  
2月7日 如月忌(九条武子夫人ご命日)  
2月15日〜16日 宗祖月忌法要  
3月15日〜16日 宗祖月忌法要  
3月17日〜23日 春季彼岸会

## 和歌山教区

1月8日 仕事始め  
1月20日 寺族女性会研修会(鷺森別院)、布教団連続法座「仏説無量寿経に聞く」(鷺森別院)

次ページに続く

## 各専門部会委員

### ■研修部会

▽部会長・伊井智雄(和歌山組極楽寺)▽副部会長・楠原晃紹(日高組妙願寺)  
▽委員・辻本真一朗(和歌山組西念寺)、島和夫(和歌山組西覚寺)、西永月潭(和歌山組西教寺)、西岡顯教(和歌山東組西教寺)、小川眞史(和歌山西組松専寺)、山本行圓(伊那組蓮乗寺)、板原充弘(有田南組円光寺)

### ■教化部会

▽部会長・山本行圓(伊那組蓮乗寺)▽副部会長・保田史郎(和歌山北組浄源寺)▽委員・佐々木敏宏(和歌山組専養寺)、辻本真一朗(和歌山組西念寺)、竹本淳一(和歌山組西法寺)、西岡顯教(和歌山東組蓮光寺)、八尾進(和歌山西組正善寺)、加藤克子(和歌山西組万福寺)、北本一紀(和歌山北組浄源寺)、松本教智(海南組了賢寺)、長谷川義昭(海草組報徳寺)、林秀信(有田組報徳寺)

### ■広報部会

▽部会長・大須賀拓善(和歌山組法林寺)▽副部会長・小川眞史(和歌山西組松専寺)▽委員・辻本真一朗(和歌山組西念寺)、内田孝(和歌山組本弘寺)、荻野龍裕(海南組浄国寺)、長谷川義昭(海草組報徳寺)

### ■社会部会

▽部会長・吉田敬子(和歌山東組正善寺)▽副部会長・西永由子(和歌山組西教寺)▽委員・蘭田秀香(和歌山組妙慶寺)、竹本淳一(和歌山組西法寺)、西岡顯教(和歌山東組蓮光寺)、八尾進(和歌山西組正善寺)、北本一紀(和歌山北組浄源寺)、荻野昭裕(海南組浄国寺)、松本教智(海南組了賢寺)、藤本惠英(伊那組極楽寺)、藤範信介(伊那組光円寺)、中田三恵(伊那組教善寺)(敬称略)  
※委員の任期は、2020年4月1日から2年間。

南組教専寺)、三浦良成(有田北組極楽寺)

## 僧侶・寺族研修会

みつ いしゅう じょう  
満井秀城さん本願寺派司教・浄土  
真宗本願寺派総合研  
究所副所長

「御同朋の社会をめざす運動」  
(実践運動) 和歌山教区委員会研  
修部会(伊井智雄部会長)では、  
2021年2月18日に日高別院  
で、19日に鷺森別院で、僧侶・  
寺族研修会を開催します。

2018年、秋の法要において  
ご門主さまは「念仏者の生き方」  
のおこころを、短く簡潔な四力条  
の言葉「私たちのちかい」として  
お示しく下さいました。この「私  
たちのちかい」を、一人ひとりが  
自らのこととして親しみ味わおう  
と、講師に満井秀城さんをお招き  
し、ご講義いただきます。

詳細は各寺院にお送りする開催  
案内をご覧ください。

前ページから続く

1月22日 ブロック寺婦連  
盟連絡協議会(WEB)

2月6日 紀南開教布教

(専光寺)

2月9日 ビハールサロン

(鷺森別院)

2月15日 布教団連統法座

「仏説無量寿経に聞く」

(鷺森別院)

2月18日 和歌山教区教区

僧侶研修会(日高別院)

2月19日 和歌山教区教区

僧侶研修会(鷺森別院)

2月24日 連研のための研

究会(鷺森別院)

3月4日 実践運動研修部

会(鷺森別院)

3月9日 布教団連統法座

「仏説無量寿経に聞く」

(鷺森別院)

## 教区内各組

和歌山西組

1月未定 組内会(未定)

2月未定 組内会(未定)

3月未定 組内会(未定)

海南組

1月30日 人権啓発推進僧

侶・寺族研修会(光徳寺)

年度内 行事企画委員会

(報徳寺)

年度内 行事企画委員会

伊那組  
年度内 組内会(未定)

有田南組

年度内 僧侶寺族研修会

(未定)

有田北組

3月28日 仏教婦人会連盟

総会(きびドーム)

日高組

2月20日 組内会(未定)

3月2日 寺族女性会(教

専寺)

3月6日 実践運動推進委

員会(未定)

3月27日 組内会(未定)

紀南組

2月6日 紀南開教布教

(専光寺)

得度

10月

森嶋淳哉(和歌山組善称寺)

林 義景(有田南組教専寺)

教師

11月

嶋 章裕(和歌山組専光寺)

澤田康昌(伊那組西照寺)

敬吊

藤田京(日高組西教寺坊守)

10月19日

中川司朗(有賀組安樂寺住

職) 12月4日

ご生前のご活躍で尽力に

感謝申しあげ、謹んで敬吊

の意を表します。

## 探しています

現在、和歌山教区教務  
所では、昭和20年12月28  
日に公布・施行された  
『宗教法人令』に基づく  
寺院規則を探しています。  
もし、保管されている  
寺院がございましたら、  
和歌山教区教務所までご  
一報ください。よろしく  
お願いします。

## 日高別院の催し

■元旦会

1月1日、10時から新年

最初のお勤めである元旦会

を本堂で。正信念仏偈行譜

をお勤め後、副輪番菅原吉

人が年頭あいさつ。

■春季彼岸会・御坊市日

高郡戦傷病没者追悼法要

3月18日、午後1時から

春季彼岸会が勤修される。

本堂で仏説阿彌陀經をお勤

めし、2時15分まで廣澤敬

## 鷺森別院の催し

■元旦会

1月1日、午前7時から

2階本堂で正信念仏偈行譜

をお勤め。その後、廣澤敬

典輪番が年頭のあいさつ。

■春季彼岸会

3月20日、春季彼岸会を

お勤めする。午後1時30分

から本堂で仏説阿彌陀經を

お勤め、引き続き法話を聴

聞する。

■常例法座

1月15、16日、飯島憲彬

師(京都市中京区・明福

典輪番の法話を聴聞する。  
なお、例年通り「御坊市日  
高郡戦傷病没者追悼法要」  
も併修される。

■常例法座

1月18日、午後1時から

本堂で正信念仏偈行譜をお勤

めし、引き続き午後2時15

分まで飯島憲彬師(京都市

中京区・明福寺)の法話を

聴聞する。

(本願寺日高別院 御坊市

御坊100 電話0738

122-0518)

寺)。2月15、16日、天野

真隆師(兵庫県揖保郡太子

町・善導寺)。3月15、16

日、藤尾眞成師(東大阪市

西石切町・稱名寺)。いず

れも午後1時30分からお勤

め、引き続き午後3時ごろ

まで講師の法話を聴聞する。

■第16回孫市まつり

3月29日(日)、鷺森別

院と周辺を会場に、孫市の

会が主催する恒例の「孫市

まつり」が開催される。

(本願寺鷺森別院 和歌山

市鷺森1番地 電話073

1422-4677)

# つれもて 聴こら

私たちはつい「人間は死んだら終わり」とか、「骨になってしまったら終わり」というふうに言ってしまうがちです。

私たちがいつい「人間は死んだら終わり」とか、「骨になってしまったら終わり」というふうに言ってしまうがちです。

ですから、先に旅立ってゆかれた大切な方々は、ただご遺骨になったのでは決してありません。仏さまと成って、私たちと共に人生

横田正純

を歩んでくださっているのです。その仏さま方に感謝の思いで手を合わせる事が大切です。

宗祖親鸞聖人は、



利益衆生はきはもなし」(『註釈版聖典』560頁)とうたわれました。

先にお浄土へ往かれ仏と成った方々は、私たちが生きているこの娑婆世界に還ってきてくださいます。

苦しむ多くの人びとを、お釈迦さまが導かれたように、私たちに寄り添い、導いてくださっているのです。

「いつもありがとうございます。南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏」と手を合わせ、

「いつもありがとうございます。南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏」と手を合わせ、

その話をしたら、あるご門徒が「先生、親鸞聖人は少し冷たいところがあるお方ですね。どうしてお父さまやお母さまの追善供養のために手を合わせないのでしょうか」と質問されたことがあります。確かに初めて聞かれたらそう思われるかもしれません。

追善供養というのは、例えば父や母の一周忌や三回忌などのご法事のときに、一生懸命手を合わせますから早く成仏してくださいますと冥福を願うことです。しかし私たち浄土真宗のみ教えは「即得往生」とい

## 「南無阿彌陀仏」は報恩感謝のお念仏

陀さまの願いの通り、またこの世界に還り、生きとし生けるものすべてが仏と成

「安楽浄土」にいたるひと五濁悪世にかへりては釈迦牟尼仏のごとくにて

そして、勝ち負けや損得ばかりを考え自己中心的な生活をし、さまざま煩惱に

阿彌陀さまの願いを聞かせていただくことが大切ではないでしょうか。

い、この娑婆世界での命終えたその時に、直ちに阿彌陀さまがお浄土へと迎えてくださり、仏と生まれさせてくださいます。

ですから、もうすでに仏と成っていらっしゃる方への追善供養は必要ありません。逆に仏となって、私たちのことを心配し、本当の幸せを願ってくださっているのです。

生涯の中で、最後のひと息まで「南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏」と申されたお念仏は、阿彌陀さまと先に仏さまと成っていかれた方々への、報恩感謝のお念仏であったのです。

(京都教区・善照寺)

11月27日鷺森別院報恩講「通夜布教」の法話から